



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス(2017.10.13)

「東の野にかげろひの立つ見えて」 (日本経済の夜明け～日銀中曾副総裁講演より)

10月5日ロンドン・ギルドホールにて、日本銀行中曾副総裁が「日本経済の底力と構造改革」と題した講演をおこないました。労働市場改革（「働き方改革」）により生産性が高まれば、インフレ圧力が増し、物価の基調的なモメンタムが強まり、日本経済の真の夜明けが来ると力強く語られました。

約800年の歴史を持つギルドホールで講演する日本銀行中曾副総裁



昼間から賑わうロンドンのパブ



講演では、悲観的に語られがちな日本経済ですが、訪日外国人旅行者数の飛躍的増加、長寿や余暇の増加により「経済厚生」はG7の中で最も伸び率が高く、悲観的にみることはないと言われました。

その上で、減少する生産年齢人口に対し、労働供給を増加させるべく、女性・高齢者の活躍推進と労働生産性の向上が重要である、と示されました。第一に、競争力の高い日本の製造業に比べ非製造業、とりわけ本社間接部門の生産性向上の余地が大いにある点、第二に、正規・非正規雇用者の分断を解消し「同一労働・同一賃金」を実現することで労働市場の流動性が高まる点、第三に、最近の深刻な人手不足がビジネス・プロセスの変革を押し進める、と指摘されます。

最後に、柿本人麻呂の和歌「東の野にかげろひの立つ見えて かへり見すれば月かたぶきぬ」を引用され、日本経済の真の夜明けが来る、と結ばれました。

付き合い残業、目的のない会議、使われない資料作り、コミュニケーション不足による行き違い、等々本当の意味での「働き方改革」が実現すれば、日本経済の真の夜明けがやって来るに違いありません。

	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
FTSE 100(英)	7,507.89	7,538.27	7,533.81	7,556.24	7,535.44
CAC 40(仏)	5,365.83	5,363.65	5,362.41	5,360.81	5,351.74
DAX(独)	12,976.40	12,949.25	12,970.68	12,982.89	12,991.87

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
 ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
 本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
 本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。